



週刊ゴールド

金の投資判断に必要な情報がここに凝縮されています。

毎週月曜日夕方発行



NY金 反落後調整

発行日 : 2014/3/24



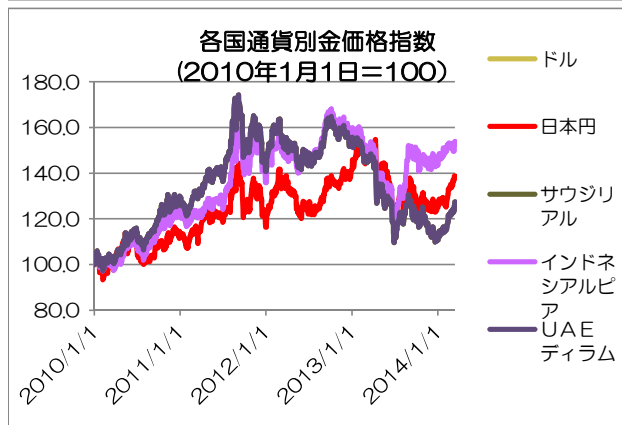
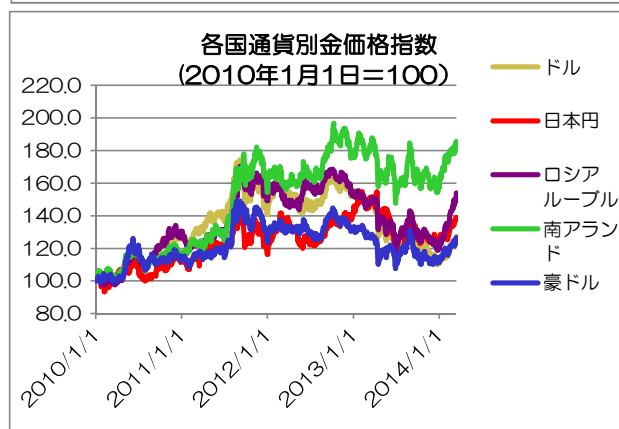
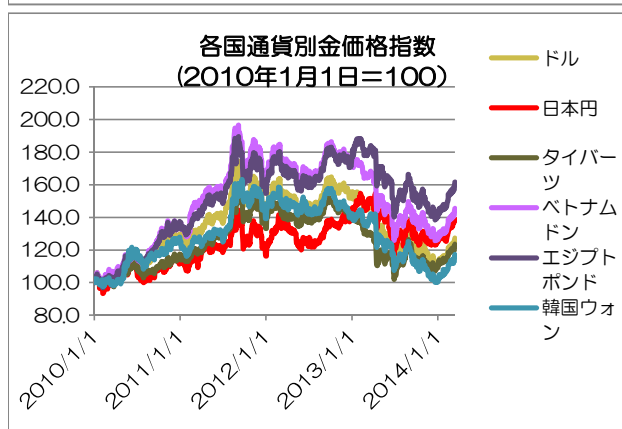
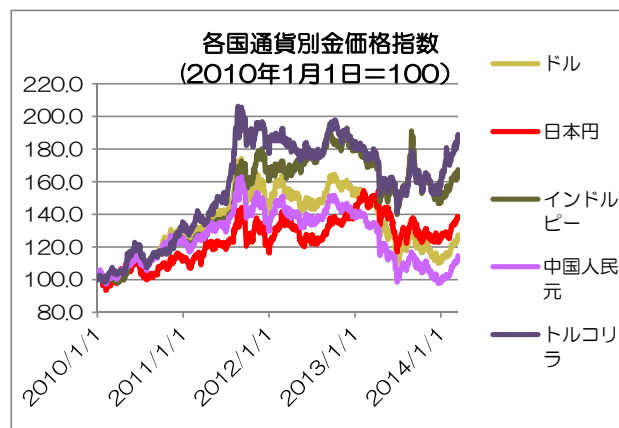
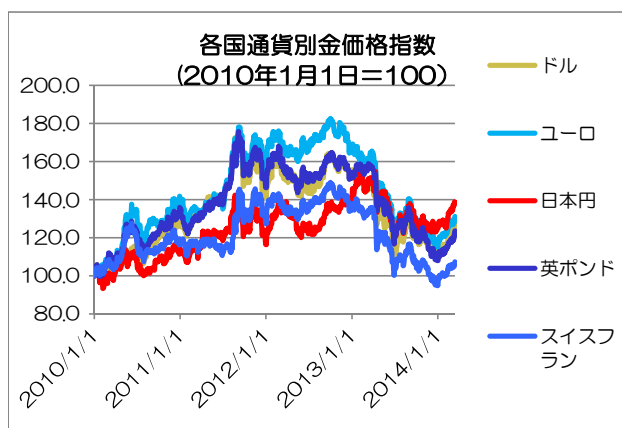
先週末21日のNY金4月限は、5.50ドル高の1336.00ドル。前日までの下落を受けた安値拾いの買いや、ウクライナ情勢への警戒感から5営業日ぶりに反発した。今週の金相場は、ウクライナ情勢が小康状態となったことや米国の2015年利上げ予想を受け、4日連続で安引けたが、アジア勢の買い戻しが優勢になった。ドル安・原油高も強材料。立会時間は、下押されたあと、1340.5ドルまで上昇したが、戻り売りが優勢になって1334.2ドルまで後退した。原油相場は上値追いとなったものの、ドル反発や株価上昇を受けて逃避買いの解消が再開した。金相場は今週に入って一貫して安引けしてきたため、時間外取引はアジア勢の買い戻しで反発したが、米国時間に入ってから、手じまい売りが押し目買いを上回って地合いを後退した。オバマ米大統領は対ロ追加制裁を発動、欧州連合（EU）も対ロ制裁の対象を拡大したが、ロシア大統領が報復を見送るとしたことから市場への影響は限られた。ウクライナ情勢は小康状態を保っているが、来週は24日から核安全保障サミット及び主要7カ国（G7）首脳会合が予定されており、ロシアに対する対応が明らかになれば、局面が変わる可能性がある。今年に入って金相場は約11%上昇し、運用上位の資産にランクされるが、米ゴールドマン・サックスは、年末の金相場見通しを現行水準より22%低い1050ドルとしている。同行アナリストは、金相場は、悪天候の影響を受けた米景気減速、中国の信用不安、ウクライナ緊張で上昇しているが、この要因は近い将来消滅するとし、金相場の下落を予想した。同アナリストは、今後2年間の金相場下落シナリオの変更は、米景気が長期間、低成長に甘んじる必要があるとした。引け後、米商品先物取引委員会（CFTC）が発表した3月18日現在の建玉明細によると、大口投機家の金の先物建玉は13万6814枚の買い越しで、前週の11万8890枚の買い越しから拡大した。（先物情報ネットワーク）

各国通貨別 金価格の動き (2010年1月1日=100)

金価格の動きは各国通貨の為替変動によって値上がり、値下がり率が異なっている。トルコリラの値上がり率が最も大きく、88.9%も上昇している。次いで南アランド、インドルピー、エジプトポンド、ロシアルーブル、インドネシアルピア、ベトナムドン、日本円、カナダドル、ユーロ建ての金価格がドル建ての金価格の上昇率27%を上回っている。

2010年10月1日を100とした各国通貨建て金価格の指数

1	トルコリラ	189	11	ドル	127
2	南アランド	185	12	UAEディラム	127
3	インドルピー	167	13	サウジアラビア	127
4	エジプトポンド	162	14	豪ドル	127
5	ロシアルーブル	154	15	英ポンド	124
6	インドネシアルピア	154	16	タイバーツ	123
7	ベトナムドン	145	17	韓国ウォン	117
8	日本円	139	18	中国人民元	115
9	カナダドル	135	19	スイスフラン	107
10	ユーロ	131			



TOPIICs 金価格を上げていた三つの要因が薄れた。 by Bullion Desk

IGMarket noEvan Lucas氏は、「ウクライナを巡る二度の政治的危機の後、リスクは少しゆるんでいるため、金市場の市場参加者はマクロ経済が金価格をどの方向に導くかを見定め始めている。金価格は ① ロシアのクリミア半島をめぐる危機や、② 中国の債務危機、及び ③ 米国の厳冬からの経済の停滞感などから上昇していたが、先週はこれらの危機感が薄れて▲3.8%下落した。ユーラシア大陸における問題は終わったわけではなく、また中国や米国についても今後第2、第3四半期にぶり返す可能性がある。米国は経済の回復が遅れて労働指標が現在の改善傾向が無くなり、Taperingが一時的に止まることもあるだろう。そうならば、金価格は2011年～12年のレベルまで戻る可能性は残されている。中国のHSBC製造業PMIは48.1と予想の48.7を下回っている。」と述べている。

TOPICS パラジウム価格、2011年8月以来の800ドル間近に上昇

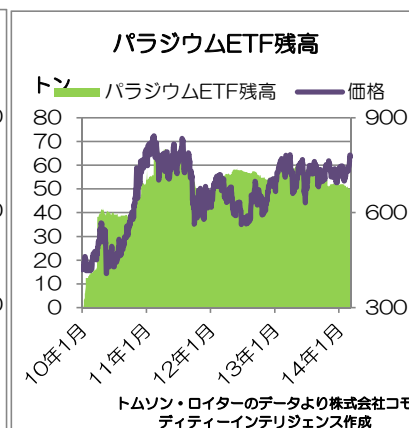
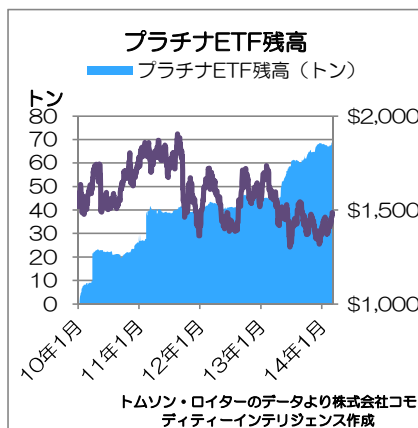
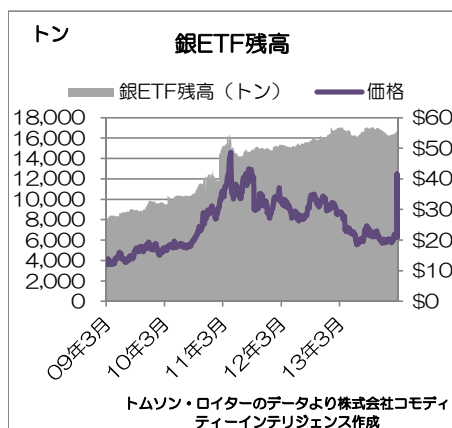
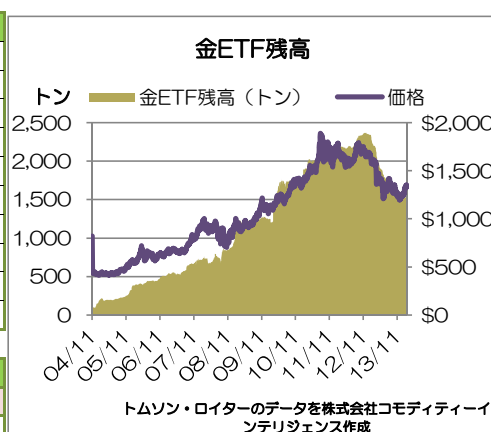


パラジウム価格は3月21日金曜日、ロシアと南アの供給に対する不安と米国の経済が回復するとの期待により、2011年8月以来の高値となる799ドルとなった。

TOPICS プラチナのETF残高が過去最大に

	金ETF残高	銀ETF残高	プラチナETF残高	パラジウムETF残高
2006年1月3日	295トン	7,898トン		
2007年1月3日	508トン	9,194トン		
2008年1月2日	707トン	11,485トン		
2009年1月2日	874トン	14,970トン		
2010年1月4日	1,271トン	16,238トン	0トン	0トン
2011年1月3日	1,697トン	16,761トン	26トン	52トン
2012年1月2日	2,146トン	14,863トン	40トン	49トン
2013年1月3日	2,360トン	16,354トン	45トン	55トン
2014年1月1日	1,541トン	16,350トン	68トン	52トン
2014年3月10日	1,541トン	16,695トン	69トン	51トン

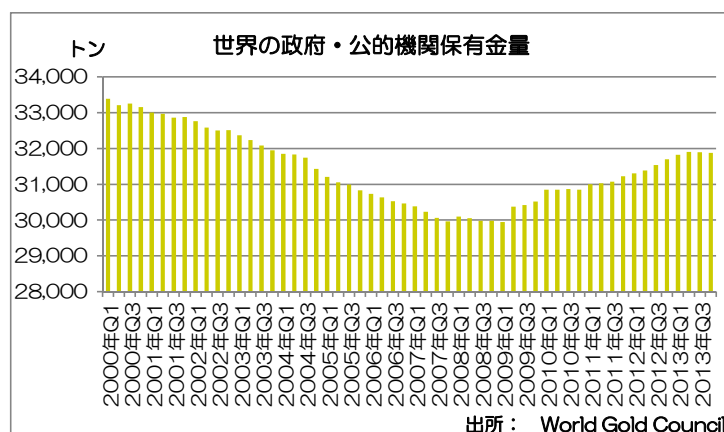
	金ETF残高	銀ETF残高	プラチナETF残高	パラジウムETF残高
過去最大残高	2,369トン	17,068トン	69トン	71トン
過去最大残高の日	2012年12月7日	1900年1月0日	2014年3月10日	2011年2月24日



TOPICS 政府・公的機関保有金の推移

単位：トン	2000年Q4	2002年Q4	2004年Q4	2006年Q4	2008年Q4	2010年Q4	2012年Q4	2013年Q4	2000年比
1 米国	8,137	8,149	8,136	8,133	8,133	8,133	8,133	8,133	▲3
2 ドイツ	3,469	3,446	3,433	3,423	3,413	3,401	3,391	3,387	▲81
3 IMF	3,217	3,217	3,217	3,217	3,217	2,814	2,814	2,814	▲403
4 イタリア	2,452	2,452	2,452	2,452	2,452	2,452	2,452	2,452	+0
5 フランス	3,025	3,025	2,985	2,720	2,492	2,435	2,435	2,435	▲589
6 中国	395	600	600	600	600	1,054	1,054	1,054	+659
7 スイス	2,419	1,917	1,354	1,290	1,040	1,040	1,040	1,040	▲1,379
8 ロシア	384	388	387	401	520	789	958	1,035	+651
9 日本	764	765	765	765	765	765	765	765	+2
10 オランダ	912	852	777	641	612	612	612	612	▲299
11 インド	358	358	358	358	358	558	558	558	+200
12 トルコ	116	116	116	116	116	116	360	520	+403
13 ECB	747	767	767	640	534	501	502	502	▲245
14 台湾	422	421	423	423	424	424	424	424	+2
15 ポルトガル	607	592	462	383	383	383	382	382	▲224
16 ヴェネズエラ	318	328	357	357	356	366	366	368	+49
17 BIS	199	197	208	172	125	501	520	348	+148
18 サウジアラビア	143	143	143	143	323	323	323	323	+180
19 英国	487	314	312	310	310	310	310	310	▲177
20 レバノン	287	287	287	287	287	287	287	287	+0
21 スペイン	523	523	523	417	282	282	282	282	▲242
22 オーストリア	377	318	307	289	280	280	280	280	▲98
23 ベルギー	258	258	258	228	228	227	227	227	▲31
24 フィリピン	225	271	221	144	154	154	193	194	▲31
25 アルジェリア	174	174	174	174	174	174	174	174	+0
26 タイ	74	78	84	84	84	100	152	152	+79
27 カザフスタン	57	53	57	67	72	67	115	144	+86
28 シンガポール	127	127	127	127	127	127	127	127	+0
29 スウェーデン	185	185	185	158	137	126	126	126	▲60
30 南アフリカ	184	174	124	124	125	125	125	125	▲58
31 メキシコ	8	7	4	3	6	7	125	123	+115
32 リビア	144	144	144	144	144	144	117	117	▲27
33 ギリシャ	133	122	108	112	113	112	112	112	▲20
34 韓国	14	14	14	13	14	14	84	104	+91
35 ルーマニア	105	105	105	105	104	104	104	104	▲1
36 ポーランド	103	103	103	103	103	103	103	103	+0
37 オーストラリア	80	80	80	80	80	80	80	80	+0
38 クウェイト	79	79	79	79	79	79	79	79	▲0
39 インドネシア	96	96	96	73	73	73	74	78	▲18
40 エジプト	76	76	76	76	76	76	76	76	▲0
その他	1,278	1,190	1,024	1,038	1,069	1,136	1,262	1,321	+43
世界合計	33,157	32,510	31,436	30,468	29,981	30,853	31,703	31,877	▲1,280
前年同期比		▲647	▲1,074	▲968	▲487	+872	+850	+174	

2008年頃から政府保有金は売却から購入に転じた。その勢いは2013年になって少しゆるんでいる。2013年第4四半期の政府・公的機関保有金量は、前期の31703トンから31877トンに、174トン増加したが、それまでの850トン増からは増加幅が縮まっている。

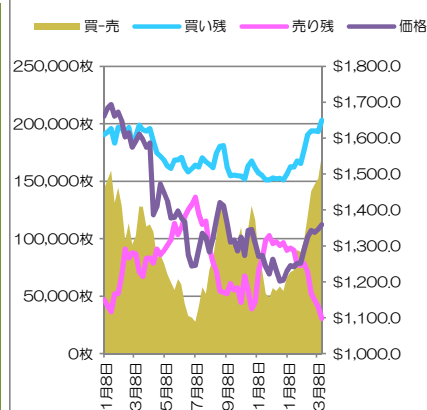


TOPICS ファンドの建玉

NY金のファンドの建玉

までの週	取組高	買い残	売り残	ネット買い残	増減	価格
12月17日	656,536枚	152,056枚	97,530枚	54,526枚	▲2,376枚	\$1,231.2
12月24日	667,491枚	151,256枚	96,669枚	54,587枚	+61枚	\$1,205.1
12月31日	628,586枚	152,452枚	94,136枚	58,316枚	+3,729枚	\$1,201.9
1月7日	630,115枚	156,270枚	89,792枚	66,478枚	+8,162枚	\$1,229.4
1月14日	664,721枚	162,705枚	91,741枚	70,964枚	+4,486枚	\$1,245.2
1月21日	663,764枚	162,253枚	89,976枚	72,277枚	+1,313枚	\$1,242.3
1月28日	608,056枚	167,696枚	77,419枚	90,277枚	+18,000枚	\$1,251.0
2月4日	602,247枚	165,286枚	76,912枚	88,374枚	▲1,903枚	\$1,251.7
2月11日	617,237枚	177,365枚	78,375枚	98,990枚	+10,616枚	\$1,290.1
2月18日	657,075枚	190,511枚	70,826枚	119,685枚	+20,695枚	\$1,324.7
2月25日	637,838枚	193,673枚	52,359枚	141,314枚	+21,629枚	\$1,343.0
3月4日	656,664枚	193,754枚	46,415枚	147,339枚	+6,025枚	\$1,337.8
3月11日	684,249枚	193,209枚	40,942枚	152,267枚	+4,928枚	\$1,346.5
3月18日	711,980枚	202,885枚	30,681枚	172,204枚	+19,937枚	\$1,359.0

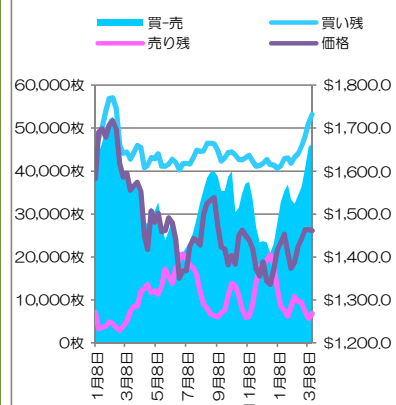
NY金のファンドの建玉



NYプラチナのファンドの建玉

までの週	取組高	買い残	売り残	ネット買い残	増減	価格
12月17日	66,669枚	42,683枚	19,282枚	23,401枚	▲254枚	\$1,343.7
12月24日	64,120枚	41,417枚	18,339枚	23,078枚	▲323枚	\$1,371.1
12月31日	66,071枚	41,463枚	20,512枚	20,951枚	▲2,127枚	\$1,336.4
1月7日	63,132枚	40,598枚	12,768枚	27,830枚	+6,879枚	\$1,412.7
1月14日	62,918枚	41,236枚	8,473枚	32,763枚	+4,933枚	\$1,431.9
1月21日	63,909枚	42,927枚	7,585枚	35,342枚	+2,579枚	\$1,452.0
1月28日	64,765枚	43,080枚	6,193枚	36,887枚	+1,545枚	\$1,407.7
2月4日	65,378枚	41,821枚	8,439枚	33,382枚	▲3,505枚	\$1,371.8
2月11日	67,112枚	43,230枚	10,794枚	32,436枚	▲946枚	\$1,386.2
2月18日	67,532枚	43,998枚	9,688枚	34,310枚	+1,874枚	\$1,422.9
2月25日	68,681枚	45,794枚	9,458枚	36,336枚	+2,026枚	\$1,441.7
3月4日	70,925枚	47,976枚	7,280枚	40,696枚	+4,360枚	\$1,463.5
3月11日	75,844枚	51,257枚	5,693枚	45,564枚	+4,868枚	\$1,464.0
3月18日	76,963枚	53,227枚	6,850枚	46,377枚	+813枚	\$1,461.2

NYプラチナのファンドの建玉



今後の予想

NY金価格は昨年末12月31日の11814ドルから3月17日の1392.6ドルまで+211.2ドル、約17.9%上昇したが、その後反落している。きっかけはFOMCによるTaperingが再びあったことであり、あらかじめ予想されたことではあるが、

金価格が上昇する要因が稀薄になっていることも確かである。ウクライナ問題は政治的な駆け引きではあっても軍事的行動に移る可能性はほとんどなく、その意味では地政学的リスクとは言えない。ウクライナの経済危機も150億ドル規模であり、欧州債務危機と比べると一桁違う。この程度であれば、金融不安を生じることはなく、IMFやEU、ロシアからの借り入れで賄うことができる。当面金価格は横ばいで推移するだろう。パラジウムが2011年以来の高値となっているのに、プラチナ価格が上がらないのは不思議な現象である。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっておりません、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

発行元：



COMMODITY
INTELLIGENCE

株式会社コモディティー インテリジェンス

〒103-0014東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310

会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692

メールアドレス：kondo@commi.cc